

## 第 1 0 回 作手地域協議会 会議録【要約】

日時	令和元年 1 1 月 1 5 日（金） 午後 7 時 3 0 分～午後 9 時 5 分	公開	・一部非公開・非公開
場所	作手総合支所 会議室		
出席者	委員 1 5 名（欠席者 9 名） 事務局 4 名	傍聴人数	なし
次 第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 報告事項</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)第 8 回会議録について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)第 9 回会議録について</p> <p>3 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)半年を振り返って</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)作手地域まちづくり計画について</p> <p>5 その他</p> <p style="padding-left: 20px;">第 1 1 回作手地域協議会日程について</p> <p>（配布資料）</p> <p>次第、第 8 回会議録、第 9 回会議録、作手地域協議会半年を振り返って、作手地域まちづくり計画</p>		

# 1 あいさつ

## 2 報告事項

事務局より、第8回会議録及び第9回会議録について報告を行い、前回の会議内容について確認を行った。

## 3 議 事

### (1)半年を振り返って

今年度も7カ月が過ぎ、地域活動交付金2次募集の審査、地域自治区予算の検討から事業計画の作成、そして市長への建議が終了したため、これまでの振り返りを行った。始めに地域協議会の位置付けや役割を再確認するため、事務局から説明を行った。その後、委員の皆さんから半年を振り返って、率直な感想や意見などを発表した。

〈意見等〉

委員	<p>私は委員2年目になります。委員になって初めに地域自治区制度や地域協議会の説明を受けて、意識しながら1年間やってきました。今改めて説明していただき、再認識することができました。今までは組織が、どのような役割で、どのような立ち位置であるかが、つかみ切れていないのが実態でありました。ですから、今日説明していただいたことを、改めて意識して動いていけるのではないかと思います。そこで気づいたことは、今の地域協議会の役割の中で、やはり地域の活性化に繋がる施策というものを、本来はもう少し協議していかなければいけないと感じました。交付金の審査では、作手の中で個々に活動しているものは審査したわけですが、やはり作手地区全体における活性化に向けたところを大局的に見て、各地区においても「ここにポイントを置いて取り組んでいこう。」などと出来るよう、そういう提案などを考えていく必要があるのではないかと感じました。</p>
委員	<p>私は今年から委員になりまして、毎回資料を丁寧に作っていただき、それによって今回はこんなことをするんだと思いながら、ここまできました。前は市長さんとお話をする機会があり、普段はなかなか面と向かってお話しすることはないので、貴重な経験となりました。作手をよくしていきたいと思うのですが、なかなか実際やるのは難しいと思いました。あと1年やってみて、何とか理解できるのかと思います。今はついていくのが精一杯なところですが、今年は、没にした空き家対策について、これから何かよい対策を考えていけるとよいかと個人的には思います。</p>
委員	<p>私は3年目になりますが、まだしっかり掴みきれてないところですが、どうしても作手全体を見て、作手のみんなのためになることを考えるのですが、私はどうしても身の回りのこと、自分の近くの事を言ってしまう。私は除雪のことを言っていますが取りあげてもらえていないのが実情です。作手は雪が降るのですが、</p>

	<p>そんなに影響のない地区もあります。そのような所は、除雪車が出てくれて、少し日が当たりだせば雪はとけてしまうのですが、私の地区は坂道も多く、周りの地区は雪がなくなってもしっかき雪が積もっている不便な地区です。しかたないのは承知しているのですが、そのような少数の地区の意見も入れていただきたいというのが正直なところです。</p>
<p>委員</p>	<p>私は希望も含めての意見なのですが、今作手では「どりにむ」が地域食堂としてやられています。これには、若い人達も一カ月にわずかな時間でも働いて、地域外からのお金を落とさせていただく方策の一つとしてやってみえると思います。これは、決して黒字で無く、たぶん赤字で運営しているのかと思います。そういう様な一生懸命にやってみえる方の活動が、観光パンフなどで、外部へ発信できているのかということと、そうしたものを公費でもって地図を作成することができるのかどうか。個人のバックアップとなるようなものですが、どの程度できるのかと疑問を感じてきました。できれば地域みんなで、作手に遊びに来られた方へ、「あっちへ行った方がよい、こっちにも行った方がよい。」などと教えてあげられるようになるとうよい。中には自然ガイドのようなものもできるとよいと思います。それはそこまで専門的でなくても、ある程度納得して帰っていただけるようなことが、ここで考えられるとうよいと思います。外から来た人に、できるだけ親切にできて、退屈させない街づくりができるとよいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私は難しいことはよく分からなくて、地域協議会の役割とかも難しくあまり分かりませんが、そういうことと関係なしに、一住民として、サマカンが無くなり、つくで祭りも今年で無くなるかもしれないという声を聞いて、作手に人が集まる場がどんどん無くなっていくことを、何とか阻止したいなと思っています。この地域協議会で考えている予算は、今いる人がよくなるために使うことがよいのか、それとも外にいる人たちが作手に来てくれるために使うのがよいのか、そこら辺もよく分かりません。どちらを優先するべきなのか、両方一緒にとというのは予算に限りもあるので、その辺りがよく分かりません。</p>
<p>委員</p>	<p>私は今年から委員となりました。全く何をやるのか聞かされることなく委員を地域から頼まれまして、正直渋々引き受けました。始まってみて、内容は聞くと分かるのですが、実際今後どのようなようになっていくのか、まだいまいち理解ができないところがある状態です。何となくは感じが分かってきてはいるのですが。私的には話す内容がちょっと難しすぎる感じがしています。もっと具体的にぎくばらんに話せるようなら、もう少し意見もできるかなと思います。私なりに難しく考えすぎているところもあり、意見をほとんど出せないでいる状態です。ですから、1年通して委員をやって、来年になれば少し変わってくるかと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>私も今年から委員をやっています。今資料にある作手地域まちづくり計画を見ますと、この中にある地域活動をほとんどや</p>

っています。作手も新城と合併してもう十数年が経ちます。作手、作手と作手だけを見る立場から、新城市の中にある作手と考え方を考えていかなければ、作手はよくなっていかないのかと思います。新城市の中にある作手の役割っていう見方が必要なのではないかと思います。地域協議会は、もっと声をあげていくべきだと思います。今は事務局の案に手をあげているような状況が多いのかと思います。先日、公共施設（廃校）について話し合いをしました。公共施設（廃校）についてはもう6年前から市と話し合いをしています。内容は、市として公共施設のあり方の方向性を聞き、それに対して意見を言っています。地域協議会委員の皆さんの中で、このことを知っている人は何人くらいいますでしょうか。たぶん、知らないと思います。そこが問題だと思います。他にも色んな団体が作手で活動をしています。自分たちが住んでいる地域ですが、意識をしていないので知らないと思います。今年は、サマカンもありませんでした。8月10日に「つく手をどり」という名前で行く交流館を会場に盆踊り大会を開催していますが、知っていますか。やはり地域協議会の委員は意識を持って、「あの人はこんな活動をしているんだ」「この人はあんなイベントをやっているんだ」と知る、参加するとかしないとかではなく、ここにいる協議会委員は意識を持って知っているべきだと思います。そして、そのような人たちが繋がってこうよとなった時、地域協議会はそれを知って、そして地域協議会では何ができるのかという形にもっていかないといけないと思います。みんな好きなことをやっているのだから、好きにやらしとけばいいやではなく、好きなことをやっているのだから地域協議会としてどうやってバックアップをしていこうと考えるべきだと思います。例えばつくで祭りにしても、なくなるかもしれないとなった時に、「さみしいね」「終わらせたくないね」「来年どうやっていこうか」などの地域の声を、地域協議会の委員がしっかり理解して知っていくことが大切で、それから作手がどうなっていくかを、この地域協議会が話し合える場ではないかと思います。みんな本当に頑張っています、そこを地域協議会がどうやって盛り上げていくかを考えていく場、そしてそれを市長、行政に対して、作手はこうやって行きたいと示せる地域協議会になっていけるようにしていきたいと思っています。事務局に言いましたが、地域協議会は楽しく、そして新城市の中の作手を動かしていける地域協議会になったらよいと思います。

委員

まず、事務局の方々にはご苦労様ですとお伝えさせていただきます。地域協議会のポイントは、地域活動交付金を有効に活用し、繋げていけるか。何をやるにしても予算は必要になりますので、そのような中で予算をとって、それを有効に活用し、そしてそこにお金が生まれるようなことをこれからは考えていく。そこに期待して地域協議会は応援していく、後押ししていく立ち位置かと思っています。私も本音を言うと、この地域協議会のことをしっかり分かっていないところもありますけど、もう1年ありますので、少しずつ勉強しながらやっていきたいと思っています。

委員	<p>地域協議会に出ていて感じているのは、地域協議会にでてくる役員の関係で特に行政区長のことです。行政区長は高齢になっています。私の区でも役をやる人がいません。ですから今後、地域協議会に出てくる役をどうつくるかが問題になってきます。地域協議会の構成も早めに方針を出していただかないと、再来年はまた私に回ってきて、その繰り返しになってきます。私たちもどんどん年をとってきます。今後地域も小さくなったり変わってきますので、できるだけ早めに方向付けをしていただくようお願いしたいと思います。あと、大勢来て話をするのもよいですが、若い人と話が合いませんので、地域における役割をいかにスムーズにもっていけるかを考えてほしいと思います。</p>
委員	<p>私は委員2年目になりますが、今も難しいなと感じています。グループワークで「困っていること」を話し合う時に、私はまったく困っていることがなくて、今の作手がこのままあれば、変わらなくてよいのかと思います。猿が出るとか、鹿が出るとか、私の中では作手では当たり前と思っていますし、困っている方はおられると思いますが、私はそんなふうに感じています。人口減少について、地元の人たちが考えるのは当たり前ののですが、作手から離れてしまった人とか、作手に住んでいない人が、どうしたら来ていただけるかという意見を取り入れた方が、住民だけの意見よりもっと効果がでるのかと思いました。</p>
委員	<p>こども園の役員をやっている関係で地域協議会に参加させていただいています。毎年春に新しい役員を決めるにあたって、誰が地域協議会に出させていただくかを決めるのですが、核家族が多くなってきていて、会議の時間的に小さい子がいると参加が難しくなってきました。私の場合は、近くに両親がいることで子供を預けて何とか参加できています。あと、私だけの意見を聞くのではなく、小さい子がいる親の事を聞くなら、役員会の方へ投げかけていただいた方が、役員みんなの意見をとれたり、私だけの片寄った意見だけじゃないものがとれるのではと思いながら参加させていただいています。</p>
委員	<p>私は農協の推薦で参加させていただいています。まったく地域協議会というものが分からず来させていただいて、意見も言えず、ここにいることが申し訳ないと思って座っています。皆さんすごく深く考えて意見を言ってみえて、すごく感心しているのですけれども、自分とすると今まで深く考えることがなくて、自分の目先の事だけを考えて生きてきたんだと思います。それで、最近になってサマカンが無くなり、つくで祭りもどうなるかという話もあるところですが、私は2つとも関わってきているのですが、やっぱり住民の人がワクワクするような、そういうものがないと、地域の人がワクワク楽しい笑顔でいないと、外からのお客様なんて来ないと思います。だから、作手の人がワクワク楽しくやれる、集まれる催しものが大事じゃないかと思います。地域協議会でもそういうものが続けていけるように、みんな考えていけたらいいなと思います。</p>

委員

私は委員が初めてで、こういう組織があるんだと学びました。私は民生委員を3年していきまして、その時に一人暮らしのお年寄りの意見を聞くことが結構多いです。民生委員は行政と住民との橋渡し役です。それが主で、何かやろうとしてもお金はありません、権限もありません。この地域自治区は、何かやろうとした時にお金があります。これが、一つ利点だとまず思いました。この前、90歳過ぎのおばあさんと話をした時に、こんなことを言われていました。「台風で避難所が開設したので避難できませんと無線があった。雨が降っていてとても一人では行くことができない。ひょっとすると消防が来てくれるかもしれないと思っけていても、もちろん来てくれない。」と。守義や木和田は、避難所が開設されても道路が寸断されてしまう恐れがあります。民生委員の人が助けようと思っけても、道路が寸断されてしまうかもしれない、では早めに動こうとしても、今度は避難所が開設されていない。では、どこへいけばよいのか、誰が連れていくのかという話がでてきます。で、虹の郷みたいなところにお世話になっている人たちは、どこへいくのか、いついくのか、虹の郷にいつ行けるかというのと、第1次の避難場所である体育館、そこへ行ってから2次避難として虹の郷に行けると。それじゃ、遅いというか、動きがとれないではないかと。じゃあ一人暮らしの老人はどうすればよいのか。区長さんは名簿をもらっているから、助けようとしても行くところがないではないか。だったら市で、学校の教室みたいな安全な場所があれば、そういうところへ逃げるができる。じゃあ、誰が管理するのかという話があるから、困っています。レッドゾーンに住んでいる一人暮らしのお年寄りはどうすればよいのかという問題がでています。このような話は民生委員として行政としていのですが、縦割りの行政ですので、なかなか話がよそへ伝わっていかない。このような話が一方であって、そしてこの地域協議会というものがありますので、かなりのことがやれば出来るのかと思っけています。この地域協議会で、このような一人暮らしのお年寄りの意見が出てこないというのがある面で弱点なのかと思っけています。

委員

私は商工会の作手支部長をしている関係で、今年から委員をさせていただいています。前年度と今年度に地域活動交付金を活用させていただきましてありがとうございました。10年近く巴湖周辺の土砂の撤去と草刈りをさせていただいているわけですが、これからも地域の活動を商工会員と地域と共にやっけて行きたいと思っけています。つくで祭りも実行委員長を商工会から出させていただいております。市の財政も厳しいことから補助金も年々減っけてきております。そんな中で地域活動交付金を活用すればと意見を言わせていただきましたが、それは無理だということで残念であります。先の委員が言われた台風時の対応ですが、私の集落では17軒あるのですが、3軒一組となり、その3軒で一番若い人が、連絡をとっけて、もし何かあれば、区長に連絡する形をとっけています。ですから電話をして、もし避難所行きたいとなれば一番若い人が避難所まで連れていきます。ただ、私の集落は南部地域で、避難所である環境改善セン

ターまでの道が、かえって崩れたり危険であるということで、近くの公園か、お寺を避難所として使わせていただいております。ですから、これは集落で考えていければよいかと思います。

委員

私は、始め地域協議会は何なのかと考えました。始まった当初は、合併して作手地域が手薄になるから、地域協議会に任せて少しテコ入れをするのではないかと考えておりました。そして、段々と地域協議会で話をさせていただいてきました。先ほど委員の方からもありましたが、地域協議会って何をしているのか知らなかったと。私もそうでした、考えてみると地域協議会って地域に認知されていないのではないか、やっている人たちだけが知っているのではないか。例えば、「こういう話があるから、地域協議会へ相談してみたら。」という声は、ほとんど聞かれないです。ですから作手地域協議会は、地域から「こんなことできんかん。」と言われるような組織になるといいと思っています。作手地域協議会を作手地域の中で認知させたいという思いです。

事務局

今皆さん一人ひとりが言っていたことが、すごく貴重な意見だと思いますし、こういう風な話が、地域協議会でいろいろ普通にざっくばらんに話ができるだとか、「今度、あれについて地域協議会で話そうよ。」ということが皆さんの中から出てくれば、それを自分たちで考えてやって行けるといいなと思っていました。行政に対してあんな事やってくださいというところもあったかもしれませんが、ここは地域協議会です。皆さんが協議をする場です。なので、色んな意見をいただきましたが、一つあげますと、「笑顔がなければ外の人には寄ってこないじゃない。」とありましたが、他の所の成功事例としまして、長野県の阿智村で旧の清内路村は、あそこは転入者が結構増えてるということで、何年か前に視察にいきました。その時に、「何で増えているのですか。」と聞きました。そうしたら、「あの人が、人を呼んでいるから。」と言われました。その人は郵便局の人で、人を呼ぶのが好きで、個人で情報発信して、色んな人に来ていただいていたら、その人のやっている活動が楽しくて移り住んじゃったということだそうです。これは個人の活動なのですが、これを地域の人も認めて、協力してということをやっています。そこから広がっていったということです。それから、清内路の支所へ行きまして、支所長さんにお話を聞きましたら、同じことを言われました。「みんなが地域で楽しんでなければ、外の人なんて来るわけがないよ。」と。本当にそのとおりだと思いました。

今日は皆さんに意見をいただきまして、重い意見もあります。やっぱり皆さんでしっかり話をしていかなければ、答えが出ないものもあるかと思いますが、やっぱりそれを考える場所というのが、作手の中に他にあるかと言うと、公の話す場というのはあまり無いと思います。作手の区長会もありますが、ほとんどが行政からの連絡となり、「何か意見がありますか」と聞いても、1時間半位の会議の最後になってしまいますので、区長さんたちも疲れてしまい、あまり意見がでていません。そうすると、本当にこの場しかないのかと思います。あと、色々なお立

場で皆さん出ていただいていますけれど、基本的には地域協議会の委員さんは、公共的団体からの推薦として出ていただいています。もちろん背景には、自分が所属している団体がありますけれど、そこから推薦された人が、自分がどう思っているかを言っただけならば基本的にはよいです。持ち帰ってそれを団体に言わなければいけないというものでないです。とにかくこの24人で集まって、話して、決めていくということだと思います。先ほどの説明にありましたが、平成25年の空き家対策についての諮問がありまして、地域協議会で市へ答申をしたわけでありまして、その時に、この24人だけでは当然地域の意見という事にはできないので、その時は区長会へ協力依頼をしました。作手の区長会で、地域協議会の会長さんから協力をお願いして、空き家の調査を行いました。そしてどんな問題があるかを地域協議会でまとめていって答申しました。なので、地域の意見をまとめるといった場合には、ここの中だけではなく、必要な時には、区長会に聞くとか、学校関係のことであればPTAに話に行くということもあります。色んな会議の仕方はあると思います、当然そのサポートは事務局としてやって行きたいと思っていますので、引き続きよろしく願いいたします。

## (2)作手地域まちづくり計画について

平成27年10月に策定した作手地域まちづくり計画について、策定の経緯、計画の概要、今後の課題を事務局から説明し、意識統一を図った。

## 4 その他

### 第11回作手地域協議会の日程

日時：令和元年12月6日（金）午後7時30分から

場所：作手総合支所 会議室

内容：作手地域まちづくり計画について ほか

【終了】